

## 今年こそ、CMSCがさらに飛躍する年に!

明けまして、おめでとうございます。  
昨年は一月早々「パリィダカール・ラリー」で篠塚建次郎選手が、日本人として初めて総合3位に入賞するという話題で明けました。秋には国内でF-1の開催などもあり、モータースポーツに対する一般の関心も、一段と高まった年でした。

わがCMSCも、各支部の主催、あるいは協賛する大会も増え、会員も増員傾向にあったようです。さらに、これまで活動の場としてきたラリー、ダートトライアルからミラージュカップ東北シリーズに参戦し、サーキットにも進出した年でもありました。

さて今年も、会員のみならず、かねてから要望されていた戦闘力の高い新戦力、ギャランVR-4が登場しました。すでに多くの会員



の方が試乗され、その力を確認なさっていることと思います。今年の全日本ラリー選手権シリーズのライバルは、ブルーバードでもセリカでもない、このギャランVR-4という選手の方もいます。

新年早々からCMSC青森、CMSC帯広の主催する「ウインターラリー」「氷上トライアル」があります。他にも各支部から、八八年活動計画が本部に寄せられています。それらはモータースポーツがますます盛んになる前兆をありありと感じさせます。

今年も一年、元気にモータースポーツを楽しんでいただきたいと思います。

一九八八年一月

CMSC会長

外川一雄



写真はテストラン中のギャランVR-4。第27回東京モーターショーに出展されたグループA仕様車。



## 競技終了後も日暮まで ダートクロスで楽しく過した1日

CMSC帯広ダートトライアルは朝夕の冷え込みがめっきり厳しくなった11月1日に行なわれました。早朝はコース全体が霜で真っ白という状態でしたが、幸い快晴でしたので競技途中からは上着を脱ぎなくなるほどの暖かさ。午後からは、コースの土煙が気になるくらいでした。

三菱車の参加は3台。BIIクラスに「北海道チャンピオンシリーズ」にも参加しているラリースト、館内コルディアがエントリーして話題に

なりました。トライアルには今回が初参加で、パイロン区間にてこぎりながらも三菱賞の第1位になったのはさすがです。

FRクラスに参加の富樫ランサーは、1トライ目に得意のパイロンを3本も蹴とばしてしまいましたが2トライ目にスラロームで挽回し、逆転のクラス優勝を果たし、三菱賞の2位でした。3位には福本ランサーが入りました。

(レポート=青沼達也)



## テレビの取材もあって 大いに盛り上がった大会でした

山形ダートトライアルフェスティバルは、県内の各クラブが協力するという初めての試みでした。大会はCMSC山形の宴会部長、蜂谷選手の前夜祭の活躍で幕を明けました。あいにく台風19号の影響が残る天候でしたが、福島、秋田、新潟からもエントリーがあり、120台が参加。地元テレビ局の取材もあって、雰囲気

もぐっと盛り上がりました。

CMSC山形からはランサー、コルディアの参加が12台。ラリー、ダートラに挑戦しCMSCチャレンジカップのポイントに大きく貢献している菅野茂選手がコルディア4WDでBIIクラスに出場、2位に入賞し三菱賞の1位になりました。同じくBIIクラスの小野選手と菅原選手は

千分の1秒まで同タイムのため、じゃんけんで小野選手が4位、三菱賞2位。菅原選手が5位、三菱賞3位に。レディースクラス2位にはCMC山形の古沢選手が入賞しました。

閉会式には西川町長の挨拶もあって、主催者、エントラント、ギャラリートとも大満足な1日でした。これで山形県の'87ダート競技は全部終了。もうすぐ月山も雪に覆われますが、月山の自然水で作る水割りは最高です。いちどぜひ味見にお越しください。(レポート=齋藤真一)

